

# 浅間台自治会だより

発行日 2026（令和8）年 8月号  
創刊 1995（平成7）年 通算160号  
編集 浅間台自治会だより発行委員会



ホームページ



## 7/5（日）浅間台夏祭り

子ども御輿が、疫病退散・学業成就・健康増進などを願って天候不良の中スタートしました。獅子頭を大勢の子どもで引きますが、思うように動きません。近くのパパさんが、獅子頭を載せる台の向きを前後逆にしたら、スムーズに動くようになりました。その後晴れ間が出るとともに、子どもの数が増えていきました。引き手の子どもが獅子頭の台の近くでは引き込まれそうなので、周りのパパさんが、現場対応で引く綱を長く伸ばし、



子どもの安全参加を確保してくれました。さすが浅間台のパパさんたちです。

午後の大人御輿は、雨の中の渡御となりました。浅間台の地域を祓い清めるために、例年通り東京やさいたま市などからも、たくさんの担ぎ手の応援が来てくれました。熱中症を防ぐ雨を歓迎し、担ぐ人たちも交通整理の人たちも例年ほど暑さに悩まずに済んだようです。雨が涼しさをよんでくれました。



ただ脱水症状により転倒した人がいました。担ぎ手の中にいた看護師さんらが、AEDを準備したり救急車を要請したり応急手当をしたりし

て頂きました。幸いにも頭部打撲との診断で、その日のうちに自宅に帰ったそうです。見事な連携プレーで救助行動が披露されました。





## 8/1（土）納涼フェスタ



バックネットのスクリーン

納涼フェスタ当日は、朝8時にテントの設置を終え、その後机や椅子なども運び込みました。暑い中4時開店に向け、4台のキッチンカーを含めフリマや各お店が準備を



進め、子ども会のパン屋さんも初めての挑戦でした。

夕方5時頃、バックネットに大きなシネマスクリーンの設置が始まり、同じ頃席取りのシートも敷かれ始めました。いくつかの出店には、早々と並ぶ人も増えていきました。



盆踊りは人出も増えたので、5時半からに繰り上げて始め7時まで踊りました。新しい浴衣を着た子どもが親の手を離れ、踊りの輪に少しずつ参加していきました。いい思い出ですね。



交流テントでは、子どもたちがシールを貼ったり絵を描いたりして、自分だけの手作り団扇を楽しみました。子どもが中心の新しい交流の場です。



映画が始まるまでの10分間バックネットのスク

リーンに、あたかもコマーシャルかのような、子ども会の「彩の国 21 世紀郷土カルタ」を紹介する映像が流れました。カルタの絵が飛び出し読み札の歌も入ったとても凝ったものでした。大人の中にも真剣に見入る人がかなりいました。とてもワクワクするアイデアでした。お見事です。

今年の納涼フェスタは、気温が40度に近づき熱中症が心配されました。幸いにも雨・風・雷などの心配が何もなく怪我人もなく、9時頃無事終わることができました。支えてくださったスタッフの皆さんに感謝します。有難うございました。





## 6/13（土） 熊本地震に学ぶ 住民避難所訓練

2度の最大震度7の熊本地震から10年が過ぎ、また熊本で令和8年熊本地震が発生しました。影響を受けた活断層があり、最大震度7でマグニチュード7.1を超える大きな地震です。しかもその後、酷暑40.3度の熱中症危険範囲での復旧作業となっていて、関連死も心配です。10年前の地震に学び被害が広がらないことを願うばかりです。

上尾市では、「関東平野北西縁断層帯—深谷断層・綾瀬川断層」地震が想定されています。6/13最大震度7 マグニチュード8.1（阪神淡路大震災 M7.3 東日本大震災 M9.0）を想定した訓練が西小学校で行われました。今回の参加地区は、小泉・浅間台・弁財・三井区・今泉・東今泉の地域で、浅間台からは自治会役員・防災士・自治会幹事らで25名が参加しました。



**想定地震発生後** 浅間台会館に集合し、参加者で避難所の西小学校を目指しました。『途中マンホールの蓋がはずれたりブロック壁が崩れたりといふ下ばかり気にしがちですが、電線が切れてブラブラしているのはとても危険です。上の電線にも気を付けましょう。』と教え



られました。

西小では、『**住民一人ひとりが自ら判断し、適切な避難行動ができるようになること**』を目指した講座が行われました。

- ① 最新の「令和4年2月発行の上尾市防災 ガイドブック」（上尾市水害ハザードマップ）を手元に置き、いつでも見られるようにしましょう。

（ガイドブック P39 地震発生確率：上尾ほぼ0%～0.008%でちょっと安心しました。）

- ② 非常用の持ち出し袋の確認をしましょう。

（保存用ペットボトルの水が減っていたので、さっそく購入しました。）

- ③ 地震対応の避難ルートを、平常時に確認しておきましょう。

（避難所は、上尾高校・大石中学校・西小学校が想定されています。）

- ④ 地震発生時にとるべき行動の目安

（ガイドブック P10・11—大地震発生 即座にすべきこと）

**地震発生** まず身を守る（自助）⇒ 安全確保（自助）⇒ 状況確認（自助）

⇒ 隣近所の安全確保（共助）⇒ 避難先の選択

※ 熊本の人々が復旧・復興に向け取り組む様子から、自分の安全を確保する行動や日頃の備えで想定外の地震にも、対応できるようにしたいものです。

◇ 熊本地震の義援金受付中です。

納涼フェスタでは、ご芳志4件を含め41,683円でした。義援金受付箱は、会館玄関に8月31日まで置いておきます。義援金は社会福祉協議会を通じて現地へ届けます。皆様のご協力よろしくお願いします。



## 6/20（土）「工事屋現場」さんによる落語寄席

いきいき浅間台主催の落語寄席を楽しみました。「工事屋現場」さんは、浅間台会館での公演実績が何度もあり、木戸銭いらずの無料高座です。落語の後は茶菓子をいただきながら、師匠との懇談会です。落語を楽しんで鬱陶しい梅雨に立ち向かいました。

### 自治会からのご案内

#### ◆ 会館アスベスト問題とその後

会館アスベスト問題について、これまで自治会だよりや自治会 HP で報告するほか、利用団体の皆さんに自治会の取組み状況を説明してきました。その後の取組み状況は次の通りです。

- ・ 工事会社 3 社に、工法による費用と工期の見積もりを依頼し、その説明を受けました。
- ・ 6 月 17 日 稲村市議の議会質問に対し、「会館のアスベスト問題は、複数の部にまたがる課題で、関係部局の連携・協力のもとに解決策を検討する」との、副市長の見解が示されました。お陰で一日も早く安心して生活できるように、市との知恵の出し合いに進むことができました。
- ・ 7 月 18 日自治会の四役・相談役会・共有会による情報交換会を設け、会館のアスベスト問題について情報を共有しました。（会館は共有会の敷地にあり、建物は自治会で建てましたが、浅間台の皆さんの協力のできた会館です）
- ・ 市の職員が会館現地確認し、市の指導を受けながら市とのやりとりを重ね、「集会所等整備実施要望書」を提出し、受理されました。
- ・ 10 月 17 日の理事会で今後の会館の改修の進め方について審議していきます。

◇ 浅間台のゴミの集積所はこの 1・2 年で折畳みカゴ型に代わり、カラス被害は激減しました。当番等を決め集積所をきれいにしていただき有難うございます。カゴの中に入れる生ごみと、カゴの外に出すゴミの約束事がそれぞれの集積所で決まっているようです。一部の人ですが自分の集積所に入れず、よその集積所を利用する人がいて利用者の約束が徹底しなくなるところがあります。遠くになっても自分の決められた集積所に出すことを守ってください。

◇ 道路上の標識・表示が見えにくくなり、安全を確保できなくなっている場所があります。まとめて対応を依頼します。気になる箇所がありましたら担当副会長にご連絡ください。

#### 今後の予定

- 9 月 10 日～9 月 20 日敬老事業記念品配布
- 9 月 13 日（日）大石地区体育祭
- 10 月 11 日（日）上尾市民体育祭
- 10 月 17 日（土）第 1 回理事会
- 10 月 18 日（日）大石ふれあい健康ウォーキング



4 丁目宅の天然芝



3 丁目宅の門扉付近

<編集後記> 夏になると「エアコンつけてるか」と、子どもから確認の電話が入る。普段エアコンが苦手な私を心配してのことである。日常生活で汗を流すことは気持ちよく充実感を感じる。しかしながら、6 月から歩数が減り、7 月には歩数激減である。真夏は徒歩からつい自転車の移動で済みます。8 月に入り比較的過ごしやすいい日が続く。これまでのエアコン生活で落とした筋力は戻るのだろうか。（正）

